

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 地域資源を活用したリトアニアとの交流促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 国際交流課 国際連携係

電話番号：058-272-1111 (内 2357)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,278 千円 (前年度予算額：23,843 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,843	0	0	0	0	0	0	0	23,843
要求額	15,278	0	0	0	0	0	0	0	15,278
決定額	15,278	0	0	0	0	0	0	0	15,278

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

リトアニアは、第二次世界大戦下、県出身の元外交官杉原千畝氏が「命のビザ」を発給した英断の地であり、県は同氏を縁として交流を進めている。

2018年からは、県とリトアニアとの交流促進を目的として、県内各所でリトアニアの魅力を紹介するイベント「リトアニアNOW」を3年連続で開催している。

2020年には、杉原千畝生誕120年・命のビザ発給80年の節目の年を迎え、コロナ禍の中、オンラインでのリトアニア杉原記念館への寄附金贈呈式、ハイレベル外交会議への出席、リトアニアNOW2020の開催等杉原千畝の顕彰事業を中心に交流事業を実施した。

2021年は、県とリトアニアの交流のさらなる深化を図るため、リトアニアNOW2021を開催するとともに、杉原千畝氏関連の講演会を開催し、両者をつなぐ杉原千畝氏の功績や人道の精神を、次世代に受け継いでいくための取組みを進めていく。

(2) 事業内容

○リトアニアNOW2021の開催

- ・県内各所でリトアニアを紹介するイベント（リトアニア文化団体による公演など）を開催するとともに、県内国際交流イベント等においてリトアニアの魅力や、県とリトアニアの交流に関するPRを行う。

○杉原千畝関連講演会の開催

- ・杉原千畝氏の功績を県民に広く発信し、その人道の精神を次世代に受け継いでいくため、杉原千畝氏に関する講演会を実施する。

○リトアニアでの岐阜県PRの実施

- ・リトアニアで開催される日本の文化等PRイベント「now Japan」などのイベントに参加し、県のPRを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,089	リトアニア・関係機関への旅費
対外交流費	900	リトアニア要人等との懇談
需用費	610	展示品、土産代等
役務費	638	通訳費、通信費、資材運搬費等
印刷製本費	305	広報ツールの印刷
委託料	11,486	リトアニア関係イベントの運営委託等
使用料	250	リトアニアでのイベント出展等
合計	15,278	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県国際交流戦略」に基づき、交流促進を図る様々な取組みを実施。

(2) 国・他県の状況

他府県においても同様の国際交流事業、偉人の顕彰事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降も継続して県が負担する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県出身の偉人杉原千畝氏を縁に、県とリトアニアの交流をさらに促進することにより、両者間の県民・国民レベルでの相互理解を深め、今後の永続的な友好関係の構築を図るとともに、県の知名度向上、誘客促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
		(H29)	(H30)	(前々年度末時点)		
観光消費額	億円 (H-)	2,819億円 (H29)	2,822億円 (H30)	2,933億円 (R1) ※	3,300億円 (R7)	88.9%
観光入込客数（実数）	万人 (H-)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,800万人 (R1) ※	4,900万人 (R7)	98.0%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	98万人 (H29)	148万人 (H30)	166万人 (R1)	180万人 (R7)	92.2%

※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少する見込み

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

県内各所でリトアニアを紹介するイベント「リトアニアNOW」を3年連続で開催し、劇団銅鑼「センポ・スギハアラ」公演、杉原千畝関連書籍の著者による講演会、関連映画の上映会、関連企画展示、リトアニア物産フェアなどを実施。多くの県民が、杉原千畝の偉業を顕彰するとともに、リトアニアの文化や歴史等に親しんだ。

また、リトアニアにおける日本の文化等PRイベント「nowJapan」において県のPRを実施。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

「リトアニアNOW」の開催やリトアニアにおけるPRを通じて、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流を始めとする民間主体の交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価)

○

杉原千畝氏の出身地である県が主体となってリトアニアと県の相互理解を深める取組みを進めることは、両者間のさらなる友好交流の発展、杉原氏の功績と人道精神の次世代への継承に繋がるため、県関与は妥当。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

杉原記念館への寄付金贈呈式のオンライン開催やリトアニア外務省主催ハイレベル外交会議へのオンライン参加など、コロナ禍においてオンラインを通じて交流を推進したほか、「リトアニアNOW2020」の開催を通じて、岐阜・リトアニアの交流の深化を実現している。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価)

○

事業の実施に当たっては、少人数で効率的に企画・調整・運営を行うとともに、海外の相手方との役割・費用の分担や、業務の委託を適切に行い、必要な作業のみを行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県とリトアニア間において、互いの認知度の更なる向上のため、両国において杉原千畝氏を縁とした相互理解を効果的に深める機会を増やすとともに、民間団体や県民を巻き込み、官民一体となった交流等を促進させていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

海外との交流・偉人の顕彰については継続的な取組みが重要であり、実施状況を踏まえ、効果的な事業内容・手法を検討していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課

組み合わせる理由や期待する効果 など